（様式第1号）

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施　設　の　名　称	宮城野原公園総合運動場
指 定 管 理 者 の 名 称	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団
施 設 所 管 部 課 (室)	企画部スポーツ振興課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期　　間	管理形態	指定管理者（管理受託者）の名称	摘 要
平成24年 4月 ～ 平成29年 3月	指定管理者	宮城県スポーツ振興財団・ミズノグループ	
平成29年 4月 ～ 令和4年 3月	指定管理者	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団	
令和4年 4月 ～ 令和9年 3月	指定管理者	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団	

※ 管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団
	所在地	仙台市青葉区錦町一丁目3－9
指　定　期　間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日 （5か年）	
募　集　方　法	■ 公募　□ 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施　設　の　名　称	宮城県宮城野原公園総合運動場	
所　在　地	宮城県仙台市宮城野区宮城野二丁目11－6	
設　置　年　月	昭和25年4月	
根　拠　条　例　等	県立都市公園条例	
設　置　目　的	スポーツの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため。	
施　設　の　内　容	敷　地　面　積	154，156．77㎡
	構　　造	宮城テニスコート：クラブハウス　鉄骨造2階建
	内　　容	テニスコート（人工芝10面）
開　館　（　所　）　日	年末年始（12/29～翌1/3日迄）及び施設点検日、4/21，6/18，8/12，10/16，11/27，3/24を除く毎日。	
開　館　（　所　）　時　間	夏時間 4月1日～10月31日まで 8:00～19:00 冬時間 11月1日～3月31日まで 8:00～18:00 その他 土曜日・日曜日・祝祭日 8:00～18:00	
指 定 管 理 者 が 行 う 業　務　の　範　囲	1　本施設の管理運営業務 2　本施設の利用許可に関する業務 3　本施設の利用の制限及び入場の拒否等に関する業務 4　本施設の行為の許可に関する業務 5　本施設の機械設備の操作・日常点検業務 6　本施設の施設・設備、物品及び敷地の維持管理業務 7　その他本施設の管理運営業務に関して宮城県教育委員会が必要と認める業務	
利　用　料　金　制	採 用 の 有 無	■ 有　□ 無
	利 用 料 金 の 名 称	施設利用料、行為許可使用料（独占利用料含む）

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項　　目	事業計画	実　績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (7 年度) (A)	前 年 度 (6 年度) (B)	評価対象年度 (7 年度) (C)		
開館(所)日数	353 日	352 日	353 日	100.0%	100.3%
延べ利用者数	50,000 人	54,159 人	49,191 人	98.4%	90.8%

※ 対象施設が複数ある場合は施設ごとに記入

(2) 延べ利用者数の内訳

項　　目	事業計画	実　績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (7 年度) (A)	前 年 度 (6 年度) (B)	評価対象年度 (7 年度) (C)		
テニスコート(観客含む)	50,000 人	53,730 人	49,191 人	98.4%	91.6%
相撲場(観客含む)※解体済	- 人	429 人	- 人	-	-
合　　計	50,000 人	54,159 人	49,191 人	98.4%	90.8%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入　　(単位:千円、%)

項　　目	事業計画	実　績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (7 年度) (A)	前 年 度 (6 年度) (B)	評価対象年度 (7 年度) (C)		
県指定管理料	21,268	21,268	21,268	100.0%	100.0%
利用料金収入	8,428	9,724	9,631	114.3%	99.0%
その他	3,338	2,514	2,734	81.9%	108.8%
収 入 計 (a)	33,034	33,506	33,633	101.8%	100.4%

(2) 支出

人件費	18,757	15,643	14,610	77.9%	93.4%
施設管理費	14,026	17,486	18,679	133.2%	106.8%
事業運営費	251	377	344	137.1%	91.2%
その他	-	-	-	-	-
支 出 計 (b)	33,034	33,506	33,633	101.8%	100.4%

(3) 収支

収　支 (c)=(a)-(b)	0	0	0	-	-
前期繰越収支差額				-	-
次期繰越収支差額				-	-

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲

5. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入　　(単位:千円, %)

項　　目	事業計画	実　績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和7年度) (A)	前 年 度 (令和6年度) (B)	評価対象年度 (令和7年度) (C)		
事業費	69	111	56	81.2%	50.5%
参加料収入	182	266	288	158.2%	108.3%
収 入 計 (a)	251	377	344	137.1%	91.2%

(2) 支出

人件費	238	252	280	117.6%	111.1%
施設管理費	3	81	50	1666.7%	61.7%
事業運営費	10	44	14	140.0%	31.8%
その他	0	0	0	-	-
支 出 計 (b)	251	377	344	137.1%	91.2%

(3) 収支

収　支 (c)=(a)-(b)	0	0	0	-	-
前期繰越収支差額				-	-
次期繰越収支差額		0		-	-

6. 評価対象年度(7 年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

主な視点	項　目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】	評価	県の評価 【施設所管課記入】	評価
経済性	施設・設備の維持管理業務の実施	職員による日常の巡回・点検及び専門業者による保守点検等により、設備等の不具合を早期発見し、修繕等を行うことで安全安心な環境づくりに努めた。	利用者に影響が出る前に対応することができたり、影響が出たとしても最小限にとどめることができ、安全安心な環境を提供できた。	A	専門業者による保守点検のほか、職員の巡回によって不具合等の早期発見に努めており、県と情報共有、協議をした上で各事象に対し適切に対応している。	A
	収支実績	上記「5. 管理運営収支実績」のとおり。	利用料金収入について、事業計画を大きく上回る実績となった。(対計画比114.3%) 前年度とほぼ同水準を維持しており、安定的な収入の確保ができている。	S	事業計画を上回る利用があったものの、前年度と同程度である。さらなるサービス向上や利用促進に向けた取り組みを期待する。	A
効率性	管理運営体制	場長、副場長の管理責任者及び経理事務担当者、スポーツ指導担当者及び副担当者をそれぞれ配置し、管理運営の強化に努めた。	事務処理業務及びスポーツ指導業務などを、各専門担当者が責任を持って行うことで、事務処理のミスを防止し、各種事業においてはサービスの向上につながった。	A	適切な人員配置、役割分担により、効率的な管理運営が図られている。また、テニスの指導員を配置するなど、実施事業の充実化や利用者のサービス向上にも寄与する体制を整えている。	A
	人員体制	正規　9 人　0 人				
	運営業務(ソフト事業等)の実施	テニス教室の参加申し込みについて、窓口申込だけでなく、当事業団専用システムからのWeb申し込みができ、クレジット決済もできるようにしている。	窓口に来なくても申し込めるし、同時に支払いまで済ますことができるので、利用者の利便性向上につながっている。	S	テニスコートについては、ホームページ上で最新の予約状況を提供するなど、利用者のニーズに応じた運営を行っている。駐車場についても、指定管理者においてシステムを更新し、サービス向上を図っている。	S
有効性	利用実績	上記「4. 施設利用実績」のとおり。	延べ利用者数は49,191人となり、事業計画とほぼ同程度の利用人数を達成できた。(対計画比98.4%) 前年度比では減少したものの、大会等の終了後に一般開放を実施したほか、早朝テニスや土日祝日の供用時間延長などにより、利用機会の確保に努めた。	A	利用実績については、事業計画は同程度、前年度よりは減少している。さらなるサービス向上や利用促進に向けた取り組みを期待する。	A
	利用者サービスの向上	・熱中症の対策として、クラブハウスの更衣室には朝から冷房を付け、状況によっては冷房を入れた会議室も無料開放した。 ・大会等が早く終了した際には、可能な限り一般開放を実施するとともに、HPやSNSを活用して周知を行った。 ・テニスコートの供用時間について、早朝テニスの時間を設け、土日祝日については1時間延長し18時00分まで利用可能とした。	・利用者の熱中症予防につながった。 ・テニス利用の選択肢が増え、様々な方に提供できた。	S	近年夏場の暑さが増してきている状況で、臨機応変に利用者の熱中症予防に努めている。その他、利用時間の拡大やSNS・HPによる情報発信、一部キャッシュレス決済導入、駐車管制システムの導入など、利用者サービスの向上に努めている。	S
	利用者の苦情、要望等の把握とその反映	・ご意見箱の設置、利用者アンケートを実施し、苦情要望等の把握に努めた。 ・また窓口受付でも話しやすい環境を心がけ、利用者ニーズの把握に努めた。	様々なご意見・要望等について、応えられるものについては、迅速に改善対応しサービス向上につなげた。	A	利用者アンケート等により、利用者のニーズ、苦情の把握に努め、対応可能なものについては、迅速且つ細やかに対応している。	A
その他	県民の平等利用	テニスコートの予約は、毎月、抽選会を行った。空きコマは一般予約枠としてホームページで情報公開し先着順での受付を実施した。	抽選及び先着受付とすることで、利用者の平等性が保たれた。	S	抽選会等を実施し、特定の利用者に利用が偏らないよう調整を図っている。また、施設の空き状況を館内掲示やホームページで公開することにより、平等に利用できるよう配慮がなされている。	S
	安全対策	・建築設備点検や消防設備点検等の法令点検はもちろん、各種設備等の点検を実施した。 ・避難誘導等の消防訓練を年2回実施した。また、組織としてのBCP訓練も実施した。 ・日赤救急法救急員の資格取得講習会に参加した。	・施設の管理運営上、法令に基づく維持管理ができた。 ・消防訓練を行うことで、有事の際の対応を確認できた。 ・日赤救急法救急員の資格について、未取得者の資格取得講習会への参加を進め、全職員が資格を取得することで、災害時等に備えた。	A	施設・設備については、定期的に保守点検を行い、修繕等必要な対応を図っているほか、職員の巡回によって、異常がないか平時より確認している。さらに、災害等の有事に備え、マニュアルの整備や訓練を実施し、利用者の安全確保に努めている。	S

主な視点	項　　目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】	評価	県の評価 【施設所管課記入】	評価
その他	個人情報の保護	個人情報保護及びセキュリティに関する研修を受講した。 また、個人情報が記載されている廃棄資料等については、速やかにシュレッダー処理することの徹底を図った。	個人情報の取扱いに関するチェックシートを用いて、セルフチェックを実施することで個人情報保護についての職員意識を高めることができた。	A	個人情報保護規程の遵守、職員研修の実施など、情報の漏洩等事故防止に努めている。	A
	自主事業の実施	初心者・初級者向けのテニス教室を2期開催した。	テニスに関心のある方の参加意欲の向上につながった。	A	初心者対象のテニス教室開催により、運動機会の創出・増加や生涯スポーツの普及・振興に努めている。	A
	その他の取組	公園施設全体としての管理運営について、楽天野球団との意見交換会や宮城野地区地域懇話会に参加することで、課題等を抽出し、共通認識を図った。	公園としての管理運営において、各方面からの意見を聞くことで、利用者が安心して利用できる公園の管理運営につながった。	A	宮城野原公園内の宮城球場を管理する団体との意見交換や地区の懇話会に参加し、球場等の管理区域外を含んだ公園全体の課題の把握し、施設の円滑な管理運営に努めている。	A
総合評価			ハード面での施設の維持管理においては、迅速な修繕対応等を行うことで、利用者に安全安心な環境を提供することができた。 また、SNS等を活用することで、スポーツ教室への参加者の獲得につなげた。 楽天野球団や地域との意見交換会を実施することで、課題等の共通認識を持つことができ、地域コミュニティの活性化につなげることができた。	A	県有体育施設の管理者として、優れた管理運営を行っている。	S

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評　価	評　価　の　考　え　方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評　価	評　価　の　考　え　方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項　　目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	【テニスコート】 駐車場は陸上競技場との共通利用だが、駐車区画が少なく、大会が重なると駐車場が満車状態となり混雑する。緑地面積の確保等との関係もありますが、駐車場の増設を検討する必要がある。 トイレ洗浄水として使用している井水は、楽天球場から供給されており、大会等と重なると、水が流れなくなり(供給が間に合わない)、詰まりが発生する。 【公園全体】 外周フェンスや門扉などが、経年劣化により錆び・腐食が進行し、破損している箇所があるので改修等が必要である。	駐車場の混雑については、隣接する県有地の駐車場利用の調整を図り、混雑を緩和できるよう努めてまいりたい。また、各所老朽化等による改修・修繕については、他施設の修繕計画等を見極めながら対応を検討していく。